

担い手通信

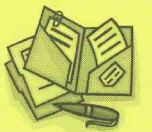


第21号
平成24年9月発行

大仙市集落営農・法人化支援センター
大仙市大曲花園町1番1号 車庫棟2階
☎：0187-63-1111（内線370）

今号のラインナップ

- 大仙市集落営農・法人化支援センター事務所の移転
- 認定農業者制度運用改善のお知らせ
- 今年度も集落営農組織運営状況調査を行いました
- 集落営農組織数の推移
- 大仙市集落営農組織連絡協議会現地研修会を行いました
- 「全国農業担い手サミットinあきた」のお知らせ
- 「農の雇用事業」参加者募集のお知らせ



大仙市集落営農・法人化支援センターの事務所が移転しました!

平成24年7月10日から、大仙市集落営農・法人化支援センターの事務所が、大仙市農業振興情報センター（太田地域）から大仙市役所車庫棟（大曲地域）へ移転となりました。また、新しい専門指導員の方々をお迎えし、新体制でスタートをきっております。

集落営農組織や農業法人のことでお悩みのことがありましたら、どんなことでも気軽に御相談ください。



さとう のぶ き
佐藤 宣 樹 専門指導員

この度、当支援センターに7月から勤務しております。これまでは農業改良普及員として39年間勤務してまいりましたが、今後は県内一の穀倉地の大仙市農業振興発展のため、地域で頑張っておられる農家の皆さんの声を、市行政の中での農業振興策に反映していく掛け橋役として役割を果たしてまいります。



たか てる とし お
高寺 利 夫 専門指導員

【座右の銘】

アメリカにデール・カーネギーという農家出身の作家がおりました。彼の著書には『道は開ける』や『人を動かす』という図書があり、困ったときなどは、その言葉から人生が導かれることが多いです。

大仙市集落営農・法人化支援センターの業務を紹介します



【主な業務】

- 集落営農組織及び農業法人への支援及び指導
- 組織の規約や総会資料、経理書類等の確認及び指導
- 組織の運営状況調査（7～8月に実施）
- 組織のフォローアップ
運営状況調査をもとに、必要に応じてフォローアップを行います。（11月頃を予定）
- 移動相談会
組織からの要望に応じ、各地域に出向いて集落営農組織及び農業法人に対して相談会を実施します。

【重点業務】

- 法人化へ向けた組織に対する研修会等での講習及び指導
設立から5年後の法人化を目標としている集落営農組織に指導を行います。
また、法人化を要件としている事業（夢プラン事業等）を活用している集落営農組織についても指導を行います。
- 研修会等の企画
大仙市集落営農組織連絡協議会の事業など、集落営農組織や農業法人の皆さんにとって有意義な研修会等を企画していきます。

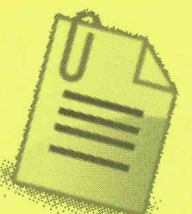
～認定農業者の皆様へ～

認定農業者制度運用改善のお知らせ

今年度から「人・農地プラン」を作成する取り組みが始まっています。認定農業者の皆様は、「人・農地プラン」の中心経営体としての位置づけが見込まれることから、各地域において今後ますます重要な役割を担うこととなります。

また、認定農業者制度の運用改善として、認定農業者制度と「人・農地プラン」の中心経営体を一体的に運用し、認定農業者となっていない中心経営体から申請があれば、認定農業者として認定するよう配慮することとされました。

さらに、農業経営の改善のために、認定農業者の皆様には、新たな農業経営指標に基づいて自己チェックを行なっていただき、その結果を認定期間の中間年（3年目）及び最終年（5年目）に大仙市へ提出していただくことになりました。農林水産省からのお知らせとチェックリストを同封しておりますので、農業経営の改善のために御活用ください。



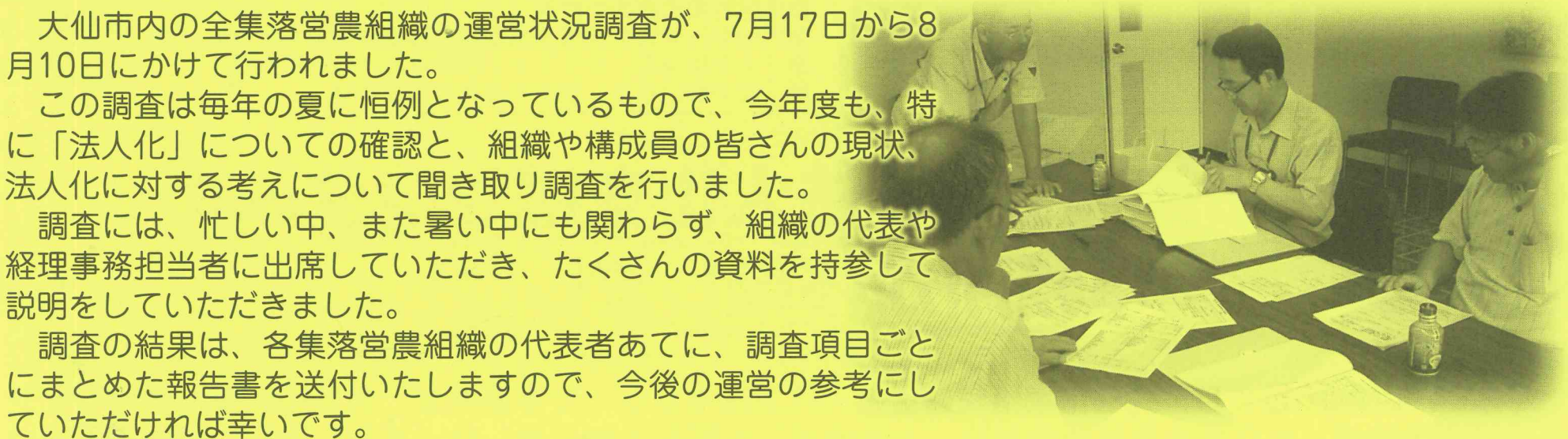
今年度も「集落営農組織運営状況調査」を行いました

大仙市内の全集落営農組織の運営状況調査が、7月17日から8月10日にかけて行われました。

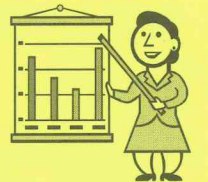
この調査は毎年の夏に恒例となっているもので、今年度も、特に「法人化」についての確認と、組織や構成員の皆さんの現状、法人化に対する考えについて聞き取り調査を行いました。

調査には、忙しい中、また暑い中にも関わらず、組織の代表や経理事務担当者に出席していただき、たくさんの資料を持参して説明をしていただきました。

調査の結果は、各集落営農組織の代表者あてに、調査項目ごとにまとめた報告書を送付いたしますので、今後の運営の参考にさせていただければ幸いです。



大仙市管内の集落営農組織数の推移（平成24年6月現在）



平成18年（2006年）の経営安定対策の開始を契機に、多くの集落営農組織が作られました。

その後、政策転換による戸別所得補償制度等への変更があり、集落営農組織の解散や法人への移行によって、大仙市管内の集落営農組織数は次のとおり変化しています。

項目	年度	17	18	19	20	21	22	23	24	(参考) 大仙市管内の農業法人数			
組織数		1	58	9	3	1	2	1		大曲	9	協和	17
法人化数						-1		-4	-1	神岡	4	南外	1
解散数					-1	-3	-1	-6		西仙北	11	仙北	4
年度計		1	58	9	2	-3	1	-9	-1	中仙	11	太田	8
合計		1	59	68	70	67	68	59	58	合計	65		

大仙市集落営農組織連絡協議会 横手市で現地研修会を行いました！

大仙市集落営農組織連絡協議会では、8月7日（火）に横手市で現地研修会を行い、2法人を視察しました。

最初に訪問した「（農）十二牲担い手生産組合」（横手市金沢）は、2戸3名で平成18年に設立されました。水稲はもちろん、露地ギク（小ギク）栽培にも力を入れています。また、地域内の高齢者を常時雇用しており、地域の活性化につなげています。

次に訪問した「（農）きずな」（横手市十文字町）は、平成22年に設立されました。十二牲担い手生産組合とは対照的に、構成員36戸で立ち上げられています。代表の齊藤さんは、初めは構成員が多いことに不安を感じたそうですが、今となっては多岐にわたる業務を一丸となって取り組むことができるので、今はこのメンバーで設立して良かったと話していました。



◀（農）十二牲担い手生産組合の露地ギク（小ギク）圃場

十二牲担い手生産組合の露地ギク（小ギク）作付面積は、JAふるさと管内ではトップの作付面積をほこるそうです！（約3.2ha）

「全国農業担い手サミットinあきた」 情報交換会参加者募集

～全国の農業者と交流してみませんか？～

日時：平成24年10月31日（水） 午後6時～

場所：大曲エンパイヤホテル

会費：6,000円以内

申込：大仙市役所農林振興課または各支所農林建設課へ 9月21日（金）まで

※会場の関係で、先着60名程度の募集です。

※不明な点は、農林振興課へお問い合わせください。

電話：0187-63-1111（内線256）

「農の雇用事業」第3回募集案内

全国農業会議所では、新たに就業希望者を雇用する農業法人等に対して、研修に要する経費等を助成する「農の雇用事業」の参加者を募集しております。

詳細は、秋田県農業会議所、大仙市農業委員会・分室にお問い合わせください。

募集期間：平成24年9月14日（金）まで

支援内容：(1)助成金額 年間最大120万円

(2)支援期間 最長2年間